

きょうかい ぜったい で し さんぎょう  
教会の絶対やぐらと70弟子(産業)

ロマ 16章 3~4節 キリスト・イエスにある私(わたし)の同労者、プリスカとアクラによりよく伝えてください。二人は、私のいのちを救うために自分のいのちを危険にさらしてくれました。彼らには、私だけでなく、異邦人のすべての教会も感謝しています。

Remnant は、平安の中で三位一体の神様と御座の祝福、3時代(過去、今日、未来)を生かす力を味わいましょう。すると、神様があらかじめCVDIPを見せてくださり、5力を与えてくださるでしょう。そして、三つの庭を作りましょう。すると、私に絶対やぐらが建てられて、人を生かすようになります。教会の中に絶対やぐらと弟子が立てばよいのです。それでこそ、教会が生かされます。そのようになるためには、Remnant はイエス様が語られた三つのことを知ればよいのです。

一つ目、イエス様は\*公生涯3年間に、変える必要があることを語られました。人々が正しく知っていない、まことの幸いと礼拝、祈りについて語られました。ペテロがキリストを告白したとき、メシアについての考えを変えてくださいました。二つ目、聖書では、イエス様がエルサレム神殿で怒りを覚えられたとあります。その理由は、神殿の中に\*三つの\*庭がなかったからです。教会には三つの庭が必ず必要です。三つ目、イエス様が最後に求めなさいと言われたことがあります。イエス様は私たちに神の国に\*神の義を求めなさいと言われました。そして、地の果てまで証人になると言われました。

世の中と教会を生かす絶対やぐらが、教会に立つ必要があります。そうすれば、現場のあちこちに弟子が起きるようになるでしょう。

- \*公生涯:個人の一生で、あることをした期間を意味します。
- \*三つの庭:異邦人の庭と、子どもたちの庭、そして、みんなが祈りができる癒やしの庭
- \*庭:広場または、庭園という意味を持っているこの単語は、神殿や宮殿などにいっしょに使われました。
- \*神の義:人間を救われることを意味します。



つぎのことを順序どおりに実践してみましょう

1. 今日の聖句全体を読んで黙想しよう
2. そして、タイトルを読んでみよう。神様が今日、なぜこのタイトルをくださったのか、考えてみよう
3. 黙想の文章を読んで、神様は今日、なぜ私にこのみことばをくださったのか、考えて書いてみよう
4. 神様が私にくださる今日のみことばを心にとどめよう。



黙想の文章を読んで心にとどめた「今日のみことば」を「永遠」の答えを受ける私だけの祈りの課題に整理しよう。



今日、私の現場にはどんなアンテナが必要かな。今日の現場伝道のアンテナについて考えてみよう。

- \* 私の現場:
- \* そこでの現場伝道で必要なアンテナは何かな

生きておられる神様、私たちの教会の中に絶対やぐらが建てられて、弟子が起きますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

きょうかい ぜったい こく さんぎょう  
教会の絶対やぐらと70か国(産業)

ロマ 16章 3~4 節 キリスト・イエスにある私の同労者、プリスカとアキラによろしく伝えてください。二人は、私のいのちを救うために自分のいのちを危険にさらしてくれました。彼らには、私だけでなく、異邦人のすべての教会も感謝しています。

教会には 237 か国を生かす\*やぐらが建てられる必要があります。重職者「オバデヤ」は、教会を生かす契約をもってやぐらを建てました。Remnant がこの答えを受けようとするなら、知っておくべきことがあります。

一つ目、教会の中に光の経済が始まる必要があります。初代教会に集まった15か国の産業人がささげた献金が世界を変えました。自分の全財産や重要な時間をささげた重職者もいます。宣教師を初めて派遣したところがアンティオキア教会です。すべての所が\*飢饉になったときも、神様はアンティオキア教会を祝福されました。二つ目、Remnant が身につけたらよい7つのことがあります。まず、本を読んでフォーラムをしてみことばで答えを見つけましょう。偉人について学んで、キリストで答えを出して、\*三つの祭りの意味を知りましょう。そして、礼拝と祈りを知って、タラントを発見して専門性を備えていきましょう。すると、現場を生かす力が与えられるようになるでしょう。三つ目、神様は Remnant を伝道者を支援する人、同労者、家主、同胞、愛する者、労苦する者として準備されました。また、世界福音化のために、世々にわたって隠されていた祝福を与えてくださるでしょう。

まだ、年齢は小さいと言われる Remnant ですが、今から 237 か国を生かすための絵を描いてみましょう。

- \*やぐら：見張りをするために建てた高い塔を意味します。
- \*飢饉：農作物のできが非常に悪い年で、食べる物が足りなくて飢えるようになる。
- \*三つの祭り：過越祭、五旬節、仮庵祭を意味します。



つぎ 次のことを順序どおりに実践してみましょう

1. 一日をはじめのまえに、神様に質問したいことはありますか。書いてみよう
2. 今日の聖句全体とタイトルを読んで黙想しよう
3. 黙想の文章を読んで、今日、私の質問に神様がくださった答えを書こう



今日、心にとどめた「今日のみことば」は何ですか。

今日のみことばから私だけの祈りの課題を整理しよう



私の現場での伝道について考えてみよう。  
現場に向けた小さな伝道実践に挑戦しよう

- \* 私の現場：
- \* 現場に向けた小さな伝道実践

生きておられる神様、237 か国を生かすやぐらを生かす祈りの課題を私の心に持つことができますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

えいえん もんだい かいけつ えいえん  
永遠の問題を解決した永遠のやぐら

使8章4~8節 汚れた霊につかれた多くの人たちから、その霊が大声で叫びながら出て行き、中風の人や足の不自由な人が数多く癒やされたからである。(7)

Remnant は、だれでも来ることができて、集中して、癒やされて、サミットになることができる神殿を建てる契約を持つようにしましょう。これは、だれも解決できない永遠の問題を解決するやぐらです。このことについて24時祈れば、与えられる答えがあります。

一つ目、歴史的問題を解決するようになります。歴史的に分裂して傷があるサマリアの地域に、初代教会の重職者であったピリポが福音を伝えました。Remnant は、歴史的な問題が解決されないところに行き、ただキリストを伝えるのです。二つ目、人が解決できない絶対不可能を解決するようになります。ピリポがサマリアでキリストを伝えたところ、人々がピリポが語ることに、そろって関心を抱くようになる働きが起きました。医師が治すことができない病気が治ったのです。三つ目、そのことが、そこに三つの庭ができるようになったということです。不治の病が治る癒やしの庭と、契約の証拠が次世代に伝えられる庭ができました。全世界237か国に福音が宣べ伝えられて、世界福音化の門が開き始める異邦人の庭ができたのです。

Remnant は、教会の中に237-5000種族を生かすやぐらを立てて、やぐらチームが構成されるように祈りましょう。そして、他の国の言語の勉強もして、未来を準備しましょう。



つぎ 次のことを順序どおりに実践してみましょう

1. 今日、私に向けた神様の計画は何かを質問してみましょう
2. 今日の聖句全体を読んで、神様が今日、なぜこのタイトルを与えてくださったかを考えて書いてみましょう
3. 黙想の文章を読んで、今日、私に向けた神様の計画を書いてみましょう



きょう 今日のみことばをもって、一日を整理してみましょう。  
きょう 今日一日の中で、問題、危機、葛藤はありましたか。それを通して神様がなされることを見つけてみましょう。

|                        |  |
|------------------------|--|
| <p>きょう 今日の問題、危機、葛藤</p> | <p>きょう 今日のみことばをもって<br/>そのことを通して神様がなされること</p> |
|------------------------|--|



わたし 私現場でどんな三つの庭が準備されれば良いのでしょうか  
わたし 私の現場において、三つの庭を夢見よう

- \* 私の現場
- \* 準備される三つの庭

かみさま えいえん もんだい かいけつ えいえん  
神様、永遠の問題を解決する永遠のやぐらを立てますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

きょうかいし もっと おお じけん  
教会史で最も大きな事件

使9章1～15節 しかし、主はアナニアに言われた。「行きなさい。あの人はわたしの名を、異邦人、王たち、イスラエルの子らの前に運ぶ、わたしの選びの器です。(15)

Remnant は、神の子どもが持っている背景を知りましょう。神様は絶対主権の中で、私を呼ばれました。私といつもともにいて、みことばで導いてください。そして、天国を約束してくださいました。福音がすべての民族に証しされて、それから終わりが来るために、Remnant は地の果てまで福音の証人となることが出来ます。

一つ目、神様は私を\*再創造しようと呼ばれました。パウロは、ステパノが伝えたメッセージを聞いて、ただ福音だけを伝える証人として立てられました。神様は、パウロのように Remnant にも福音を与えられ、証人として立てられました。二つ目、神様は私を、国と家系の運命を変える者として呼ばれました。そして、私を、福音を伝える、わたしの選びの器だと言われました。この事実を知って、キリストで答えを出せば、現場に光が照らされ始めます。三つ目、神様は私を王たちの前に立てて、世界を生かすために呼ばれました。先に私が再創造されて、私たちの家系と世界を生かすようになります。これを天地開闢と言います。

神様は暗闇に陥っている人々を生かすために、私を証人として呼ばれました。そして、神様とともにいる祝福と、伝道できる権威も与えてくださいました。その力が私に臨む時間を必ず持ちましょう！

\*再創造：再び造り出すことを意味します。



かみさま わたし とおと じょうじゆ さま  
神様が「私」を通して成就される「今日のみことば」は何でしょうか

Q1. 今日の私の状態はどうか。書いてみよう

Q2. 神様にしたい質問を書いてみよう

Q3. 私がした質問に答えられた「今日のみことば」は何かな。書いてみよう



め さき みて から ひと あ まえ が あさ  
目が覚めてから人に会う前が「朝」です。私はどんな24の答えを受けますか。上で受けた「今日のみことば」をもって私だけの24祈りの課題を書いてみよう



きょう わたし げんば ほん  
今日、私の現場について、どんなみことばと本、そして、いろいろなメディアで編集に挑戦しますか。現場について、私の契約を整理してみよう  
\* 私の現場：

\* 現場について編集したみことば：

\* 現場について編集した本、またはメディア：

かみさま かみ こ かち はっけん かみさま えら うつわ  
神様、神の子どもとなった価値を発見しますように。神様の選びの器であることを確信する祝福を与えてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

三つの庭を準備した教会

使 11 章 19~30 節 さて、ステパノのことから起こった迫害により散らされた人々は、フェニキア、キプロス、アンティオキアまで進んで行ったが、ユダヤ人以外の人には、だれにもみことばを語らなかった。(19)

教会の絶対やぐらとは、教会の中に三つの庭を作るという意味です。Remnant は、教会の中に三つの庭が準備できるように祈りましょう。その中で私が準備することをを見つけましょう。

一つ目、三つの庭の土台は絶対プラットフォームです。神様は Remnant に夢を与えてくださいます。その契約が Remnant の心の中にとどまれば、三つの庭を作ることができる絶対プラットフォームになります。すると、絶対見張り台、アンテナが作られます。この準備ができたパウロは、Remnant を育てるために会堂に行きました。そして病気になっている人々を癒やすチームを作りました。二つ目、三つの庭を作る組織が作られます。民族の暗闇を打ち倒すことが神様の計画であることを、多民族に知らせてあげましょう。そして、病気になっている人々に、神様が与えてくださった霊的祝福に集中すれば治るという事実を知らせてあげましょう。最後に、世の中のサミットより霊的なサミットに先になる必要があることを教えてあげましょう。三つ目、実際に準備をしなければならないことがあります。まず、他の国の言語を準備して、いっしょに遊ぶことができる遊び文化を準備しましょう。最も重要なのは、霊性文化の準備です。

教会で三つの庭を作ることができるように、いま自分ができることを準備しはじめましょう。



神様が私の「出会い」を通して成就される「今日のみことば」は何でしょうか

Q1. 今日の私が会う人の名前をすべて書いてみよう

神様は今日の「出会い」にどんな計画を持っておられるのかを質問して、黙想の文章を読んでみましょう。

Q2. 「今日のみことば」は何かな。書いてみよう



「昼」には、25神の国のことを味わうことができます。  
神の国のことが成されるように、上で受けたみことばをもって祈りの課題を書いてみよう



今日、私の現場でどんな設計をしますか。  
現場について編集したみことばが現場に適用されるように祈りで設計しよう

\* 私の現場：

\* 現場について編集した私だけのみことば

\* 現場に適用されるように祈りで設計してみる

神様、現実だけ見ずに、私の中の三つの庭が準備されますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

ダビデの羊飼いの時期

詩 78 篇 70~72 節 乳を飲ませる雌羊の番から彼を連れて来て御民ヤコブを自分のゆずりの民イスラエルを牧するようにされた。彼は全き心で彼らを牧し英知の手で彼らを導いた。(71-72)

ダビデはまことのエリートの答えを受けました。Remnant はダビデと同じ答えを受けることができます。そのために、ダビデの羊飼いの時期を見て、五つのことを見てみましょう。

一つ目、ダビデは羊一匹もなくさないほど誠実でした。そして、ダビデは幼い時から契約の中にいました。ダビデは、羊飼いだったときも、ゴリヤテに会ったときも、そして、王になったときも、契約の中にいました。契約の中で黙想して最高の祝福を味わったのです。二つ目、ダビデは専門性がありました。霊的サミットに先になったダビデは、羊一匹もなくしませんでした。それは、とても優れた技能を持っていたということです。三つ目、ダビデには信仰がありました。神様がいつもともにおられるという事実を知っていました。四つ目、ダビデは、みことばを知っていて、暗唱もしていました。みことばの中にまことの力と癒やしがあり、まことの救いと道があるということを知っていました。五つ目、ダビデは未来に対する確実な契約を持っていました。神様が造られた私、私のこと、私の現場を持っていました。

Remnant は、ダビデが持っていた五つのことを私のことであると覚えましょう。まことのエリートの答えはすでに始まっています。



神様が私の「家庭」を通して成就される「今日のみことば」は何でしょうか

Q1. 今日ともにいる家族の名前をすべて書いてみよう

神様は今日、私の「家庭」にどんな計画を持っておられるのかを質問して、黙想の文章を読んでみましょう。

Q2. 「今日のみことば」は何かな。書いてみよう



「夜」は永遠の作品として残す神様のみことば成就を点検する時間です。今日、どんなことがありましたか。そのことの中で神様が成就された「今日のみことば」は何だったか、整理してみよう

| 今日あったこと | そのことの中で神様が成就された今日のみことば |
|---------|------------------------|
|         |                        |



私の現場でどんなみことばのデザインが合うかな  
「今日のみことば」をもって私の現場伝道にいちばん合うデザインを考えよう

\* 私の現場

\* 現場伝道に合う「今日のみことば」デザイン

神様、ダビデのように契約を味わって、神様がくださった恵みを味わいますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン